

と。

大学 頭中央前上に両手の前方にさした人差指の指頭をつけ合せてから左右に離し、頭の上に夫々菱形を後方へ描く。大学の角帽を模写したもの。

退却 「前進」では指頭を上向け掌を前向けた両手を並らべ一列横隊の形をつくり、そのまま前方へ押し出すのに返して、その横隊を手前左方斜めに引き寄せる。

体験 「経験」と同じ。

大工 胸の稍々右寄り前で、五指を彎曲して掌を下向けた左右両手を前後にならべ鉋を持つ姿態をつくり両手をそのまま手前へ引き寄せては前に出して、鉋を使う動作―男性。

退屈 「待つ」と同じ手まね。

太鼓 (イ) 小太鼓ならば、左手で太鼓を吊るし持つ真似をし、右手でむちを持って叩たく身振り。

(ウ) 大太鼓ならば、上に吊るされた太鼓を仮想して、右手でむちを持って叩たく身振り。

(ハ) 祭り太鼓のような場合は両手の人差指をむちとして下に置かれた太鼓を交互に叩たくりく身振り。

大根 両手で大根を引き抜く身振りをして――白の手まねをして、掌を前に向け五指を彎曲した両手をならべ左右に引き離して行く（大根の丸く長く長い形状を模写）

退治 五指の指頭を上向け掌を内側にした左手の上から右手掌で押し降す（弾圧、圧制）次に、「全滅」の手まねの「全くなくなる」を表わす。

退職 「退学」と同じ要領。役所或は工場の手まねをして、上向けた左手の掌の上に右手の集め合せた五指の指頭をつけ、手前へ引き離す。即ち籍をぬくこと。

大丈夫 (可能) 掌を右側に向け五指の指頭を左胸に直角につけ(兼指中指人差指の三指の指頭が胸につく)次に右胸につける。

「可能」の意味。「とをすることが出来る」「私にはそれが出来る」の「出来る」

大臣 政治」男性或は女性(稍々高くさし上げて)表わす。

大切 大事な 右手の掌を反対側の左回にすれすれに向わせ(五指の指頭は後方にさし掌は右側になっている。)左右に頬を打つばかりに小さく運動させる。如何にも頬にさわらぬように「大事にする」「大事な」とばかり気を配った表情で手まねする。

大層 大へん 「少し」の手まね(即ち人差指の指先僅かに残したところに同じ手の親指の指頭をつける)をして、親指の指頭を入差指の根元までずらせて行く。

体操 両手を前に突き出したり、左右に突

き出したり等して体操の身振り。

怠惰 掌を内側にした右手の人差指と中指の二指を横にして鼻の下にびったりつけ右頬へ斜めにすり降す。「怠ける」の意味。鼻下を長くして、鼻汗を横なでしただらしなさを表わしたものが。

大体 「大方」と同じ手まね。

滞納 納める(金を前に出す) | 怠ける
| 忘れる

代理 「代り」(変わる) | 人(男性或は女性)

大部分 「大方」と同じ。

大砲 掌を上に向けて五指を彎曲させた左手を下に、掌を下に向けた五指を彎曲させた右手を上にして向い合わせ左右に引き離して行き(大砲の砲身の円筒状を模写)次に左手をそのままの姿態に置いて、その掌の中へ右手の拳にしたのをさし入れて(弾薬をこめ